

社会福祉法人 東京援護協会



東援だより 第28号

理 念

私達は、高い志を持ち、時代の要請に基づき先駆的に社会福祉の充実を図るため、活力のある経営を行って、社会福祉法人としての責任を果たし、社会に貢献してまいります。



「生産品」 関町福祉園 (詳細:2ページ㊦)

も く じ

- 監事あいさつ 2
- 特集 法人施設地域交流報告 4
- 上半期法人施設公開行事日程 6
- 「創立20周年記念式典」開催 7

災害マニュアルの見直し

理事長 山口 桂造



私達は近年いろいろな災害に遭遇し、戸惑うことが多くあります。四、五年前より振り返ってみただけでも、東日本大震災、熊本地方の大震災、北海道地方の洪水や各地で被害をもたらしている竜巻など、今までに無い災害に襲われています。

さらに過去に起こった地震を知ることも重要です。ある報道によれば、熊本地震に酷似した地割れを引き起こした地震が、約二千年前にも起きていたそうです。それを物語る遺跡が熊本市の小野原A遺跡にあります。二〇〇二年県教育委員会が行った発掘で、地震による大規模な断層が約三十メートルにわたって確認されました。地層の前後関係から、地震は約二千年前に起きたと考えられると寒川旭さん(産業技術総合研究所・名誉リサーチャー)は言っています。又、最近数十年の地震活動とよく似ているのが、九世紀の日本の大地震です。八三〇年出羽北部、八四一年信濃・伊豆、八五〇年出羽南部、八六八年播磨、八六九年貞観地震で東北地方に大津波が襲いました。八八七年南海トラフ周辺で地震が起きます。九世紀と現代五十年の主な地震の発生場所を地図で見比べると、傾向がよく似ていることがわかります。寒川さんは、「熊本地震の後には南海トラフ地震が控えている。近い将来に起きることを前提としての備えが必要」と話しています。寒川さんの意見は傾聴に値します。

そこで我々はどうのような行動をとるべきか、今一度災害マニュアルを見直す時期が来ていると思います。利用者の方々や職員の生命を守ることを第一とし、災害情報を早くキャッチして、迅速に正確に共有し、無駄のない行動をすることが求められます。そのためには、一日も早くマニュアルを再整備することが必要です。そして、普段から実践的訓練を行い、その方法を頭に叩き込み、身体に覚えさせねばなりません。

尊い人命を守るためには、災害が来てから考えるのでは遅いのです。未曾有の災害が近づいて来ていることを前提として、万全の準備を行うことが必要です。

理事・評議員・監事あいきつ

福祉とともじ

社会福祉法人東京援護協会 監事(税理士) 中村 保彦



昭和41年に開設された「町田荘」の創立50周年
おめでとうございます。

東京援護協会の創立60年、町田荘の50年の歴史は、昭和と平成の二つの時代にまたがり、その間、戦後の混乱、日本経済のバブル崩壊、欧米金融機関の破綻などあまりにも劇的な変革の時代を乗り越えてまいりました。

東京援護協会は、山口桂造理事長の先を見据えた識見と才覚により福祉社会を先駆け、社会福祉事業のバイブル的存在と成っていると
思われます。

私は、平成7年より既に20年間、現職役員のなかでは、山口桂造理事長、山口英次常務理事、森田浩一郎理事・評議員に次いで4番目の古さを誇り、監事として経営の一端を担う事が出来ました事は大変光栄な事と感謝しております。

そして今、わが国は障がい者、高齢者福祉のより一層の充実が図られる時代になり、平成29年より社会福祉法が大幅に改正され、時代に則した経営管理をする必要性を求められています。東京援護協会の更なる公益性、社会・地域貢献、安心、安全を期待して、施設職員、入所者と共に明るく、楽しく、元気よく、生を享受してゆきましよう。

関町福祉園自主生産品紹介

関町福祉園 生活支援員 宮下 博文

関町福祉園で利用者が作っている商品を紹介させていただきます。

100%植物性石鹸用素地とした、アロマの香りのする石けん、ネックレスやブレスレットなどの色鮮やかなビーズ、関町福祉園のロゴが入った缶バッチ、園内で栽培した農作物を販売しています。

特に名産品となっているのが、11月に収穫する練馬大根です。とても大きく育つ大根なので収穫は一苦労ですが、利用者や職員が力を合わせて引き抜き、土の中から出てきた大きな大根にいつも歓声が上がります。農作物は園内にて販売していますので興味のある方はぜひお立ち寄り下さい。



施設紹介

自立支援センター豊島寮



施設長 田島 信幸

自立支援センター豊島寮は（定員71名）路上生活者の一時的な保護及び就労による自立など、路上生活からの早期の社会復帰に向けた支援を行うため、特別区と東京都が共同して実施する路上生活者対策事業です。

この事業は四つの支援から成り立っています。

一つ目は、担当区の駅舎、公園、河川敷等で起居する路上生活者を巡回し、面接相談を実施しながら路上生活からの脱却を支援するアウトリーチ事業です。

二つ目は、担当区（福祉事務所）から依頼のあった利用対象者が直接施設に入寮し、一時的な保護と心身の健康回復を図りながら総合的な評価（アセスメント）を軸に実情にあった社会復帰を支援する緊急一時保護事業です。（利用期間2週間）

三つ目は、緊急一時保護事業の支援を受けた者で、就労による自立と

地域社会への移行を支援する自立支援事業です。（利用期間は緊急一時保護事業と併せ6ヶ月です）

この自立支援事業の支援の中には50箇所（の借上げアパート）があり、就労自立する前に生活訓練の場が設けられています。

四つ目は、自立支援事業から就労自立によつて退寮した利用対象者が、地域での生活を継続できるように自宅を訪問し、各種相談に応じる地域生活継続事業です。（支援期間原則1年間）

これら一連の支援を通し、一人でも多くの利用対象者が路上生活からの脱却を早期に図ることを目的に、職員相互が連携し日々の業務に取り組んでおります。



施設紹介

大泉障害者支援ホーム



生活支援員 山崎 早希子

大泉障害者支援ホームは、公園や学校、福祉施設に囲まれた、落ち着いた環境の中に位置しています。平成26年4月に、東京都から移譲を受け、東京援護協会が自ら設置、経営する指定障害者支援施設として事業を開始しました。入所サービス（生活介護事業・施設入所支援事業・短期入所事業）では、視覚・肢体・知的等の重複した障がいをお持ちの方々が、当施設で安心して生き生きと生活していただけるよう、きめ細やかな支援を行ない、通所サービス（就労移行支援事業・就労継続支援B型事業）では、利用されている方々が、毎日の規則正しい通所を通じて、人間関係の築き方や生活能力の向上、そして働くことによる達成感を確認できる場となるように日々支援に取り組んでいます。

当ホームでは、地域福祉貢献活動に力を入れています。障がいをお持ちの方の就労について、講師を招い

て講演会を開催したり、視覚障がいに対する理解を広げるため、所内のガイドヘルプ入門講座を開催する他、近隣の小学校へ講師として職員を派遣し、授業を受け持ったりしています。社会資源としての施設機能を地域住民に還元し、地域に開かれた施設づくりを目指しています。



近隣の小学校での授業風景



法人施設 地域交流報告



高島平福祉園 納涼祭

板橋区立障がい者福祉センター
業務係 主任 山口圭一



また、板橋の一品である高島平福祉園の焼菓子、Tシャツ類の販売なども行われます。ぜひ一度ご参加ください。

7月29日(金)18時
30分より高島平福祉園納涼祭が、西北台北町会協賛で開催されました。当日は、板橋区長、法人理事長はじめ多くの方々が参加され、盛大に行われました。

納涼祭は、地域交流・地域貢献・社会参加の場として地域の公園を会場とし、施設利用者と地域住民が共に参加する大切な機会です。

熱気いつぱいの中、利用者と地域の子どもたちが一体となって、屋台の焼きそばなどを食べながら盆踊りを楽しみます。

三園福祉園 夏のイベント

生活支援員 石川由美



三園福祉園では夏のイベントとして地域交流を行っています。今年も「地域開放行事」と「納涼祭り」が行われました。

「地域開放行事」は、今年で3回目を迎え、今回は、小学校の低学年の子供達もたくさん来園していただけるようにアニメの映画上映(2本立て)とお菓子のつかみ取り、ビーズブレスレット作り体験を実施しました。

今回来園された地域の方は、園の利用者の方、ご家族の他、近隣の住民や昨年も来園された方、幼稚園の掲示ポスターを見た方など様々で、昨年よりも多くの方が来園され徐々に地域交流の輪が広がっていますと実感できました。

また、「納涼祭り」では悪天候にもかかわらず多くの方のご来園のもと、盆踊りやスイカ割り、打上花火などを楽しんで頂きました。他にも自治会のお祭りのテント設営のお手伝いに参加するなどして地域交流を進めています。

小豆沢福祉園

生活支援員 定方祐一



7月30日(土)に「なつまつり」を開催しました。当日は天候にも恵まれ、区長、区議をはじめ近隣や地域のたくさんの方々に来園していただきました。

午前は、板橋勇音太鼓の皆さんと板橋区民踊連盟の方々と一緒に盆踊りをしました。午後は、寄席園芸望による、日本舞踊やバナナのたたき売りと大正大学パフォーマンス研究会「じゃぐだっく」によるジャグリングショーで盛り上がりました。

模擬店では、近隣のサンクスにも協力いただき、カレーライスや焼き鳥などの食べ物からお土産のクッキー販売まで。ゲームコーナーでは、千本くじやフィッシングゲームで景品をもらい、小豆沢児童館によるシュリンクシートでは、キーホルダー作りなど、楽しい催し物に利用者の皆さんや地域の子供たちが楽しまれました。

西野福祉園

主任生活支援員 中澤 幸治

8月20日(土) 前野町4丁目町会と共催で恒例の納涼祭を実施しました。

前日からの天気予報通り、開催が危ぶまれるほどの朝から強い雨が降っていましたが、開始時間の夜6時前には雨も上がり、無事開催されました。

園としてはスーパーボールすくいと射的を出店し、長い列ができるほど多くの子どもたちが参加してくれました。

また、当園太鼓クラブが組太鼓など4曲を披露し、会場の皆様から大きな暖かい拍手いただきました。

利用者のみなさんは模擬店などを思い思いに楽しみ、地域の方々との交流ができた1日となりました。



田柄福祉園

生活支援員 鈴木 裕之



7月9日(土)に3回目となるひまわりフェスタ(納涼祭)が開催されました。練馬区では、障害への理解をしようとして

区内の福祉施設のお祭りを巡るスタンブラリー「ねりまねりあるきラリー」が企画され、田柄福祉園が最初の施設ということもあり大勢の来場者に来ていただくことが出来ました。今年も「和民」さんにも協力をさせていただいたり、利用者と一緒に考えたメニューを準備し、大いに盛り上がりました。

また8月6日(土)には「地域開放活動」を行いました。今回3回目の開催となります。大きなスクリーンで「アールと少年」を上映し、当日参加された福祉園の利用者との交流に繋がりました。当日はかき氷も配布し、来場者の方々に喜んでいただけました。これからも地域の方々と福祉園との交流の場として開放活動を開催していきたいと思えます。



東京都練馬障害者支援ホーム
ふれあい秋まつり

作業療法士 西野 陽子

練馬障害者支援ホームでは、毎年9〜10月にふれあい秋祭りというお祭りを開催しています。音楽イベント、ゲームコーナー、模擬店、利用者の作品展示などがあり、多くの方が遊びに来てくださっています。私は入職2年目ですが、昨年は、利用者家族やOBだけでなく、近所の子供連れのご家族がたくさん遊びに来てくださり大盛況で、私自身とても楽しかったです！

名前の通り「ふれあい」をテーマに掲げ、毎年施設と地域の繋がりが「コミュニケーション」を深められるような工夫をしています。例えば、身体障がいのある利用者と子供たちが真剣勝負できる



ようなゲームを考えたり、障害体験として自働車を体験するコーナーを設けたり。大人子供がワイワイ楽しめるおもちゃ製作コーナーを作ったり、利用者が担当しているブースをスタンブラリーで回ってもらったり、利用者が作っている精度の高い作品に触れてもらったり。お祭りを通して障害への理解を深め、垣根のない地域の関係を築けるきっかけになれば、と考えています。

今年も、10月15日(土)に開催しました。

利用者・近隣の方々・地域移行された施設利用者OB等々「ふれあい」を楽しめました。

例年秋頃に開催を予定しております。興味を持たれた方、近くにお寄りの方ぜひ遊びにいらしてください。一同お待ちしております。



平成 27 年度 東京援護協会の財政状況

事業活動収支の概要

(自平成 27 年 4 月 1 日 至平成 28 年 3 月 31 日) (単位:千円)

内 訳	収 入	支 出	収支差額
事業活動による収支	5,268,189	5,004,247	263,941
施設整備等による収支	0	23,032	△ 23,032
その他の活動による収支	36,544	191,485	△ 154,940
当期資金収支差額合計	5,304,733	5,218,765	85,968
前期末支払資金残高			1,305,084
当期末支払資金残高			1,391,052

※平成 26 年度は田柄福祉園建設費用を計上しました。

貸借対照表

(平成 28 年 3 月 31 日現在) (単位:千円)

区 分	金 額	区 分	金 額
流動資産	1,682,974	負債の部	流動負債 418,880
			固定負債 383,811
			負債の部合計 802,691
固定資産	2,011,978	純資産の部	基本金 77,805
			国庫補助金等特別積立金 495,656
			その他の積立金 731,246
固定資産	742,680	次期繰越活動増減差額	1,587,552
その他固定資産	1,269,297	純資産の部合計	2,892,261
資産の部合計	3,694,952	負債及び純資産の部合計	3,694,952

平成 28 年度 上半期 法人施設公開行事日程 及び 地域交流行事一覧

施設名	行事名	月 日	時間帯	内 容
大泉障害者支援ホーム	ふれEYEまつり	10月1日(土)	10:00~15:30	毎年恒例のホーム祭。コンサート・体験コーナー・施設紹介・模擬店・アトラクションなど実施。
蓮根福祉園	れんこんまつり	10月8日(土)	10:30~15:00	地域団体の協力を得て開催する地域交流行事。各施設の自主生産品出店、被災地物品販売、模擬店、イベント等。
東京都練馬障害者支援ホーム	ふれあい秋まつり	10月15日(土)	10:00~15:00	地域交流・地域公開行事。自主生産品販売、模擬店、ゲームコーナー等。練馬ねりあるきラリー(スタンプラリー)
特別養護老人ホームいずみの苑 蓮根在宅サービスセンター 合同	第9回いずみ祭	10月23日(日)	10:00~15:00	「遊びにおいてよいいずみの苑」をテーマに開催。模擬店・音楽ボランティアによる演奏・落語などのイベントなど。
関町福祉園	施設公開 「関町フェスティバル」	10月29日(土)	10:30~14:30	関町福祉園開設30周年式典を行います。模擬店、自主製品販売に加え、ステージプログラムも予定しています。
町田荘・サルビア荘合同	オープンハウス2016 ~丘の上の施設から~	10月29日(土)	10:00~16:00 ※感染症流行時等 中止の場合あり	日常行われている支援、サービスなどを公開することにより、地域の方や関係機関の方に施設を知ってもらうとともに地域との連携を強化する。 内容:施設見学、介護相談、自主生産品・利用者作品販売、地元のプロサッカークラブによるサッカー教室、バザー、他催し物多数。
前野福祉園	ニコニコフェスタ2016	11月12日(土)	10:00~15:00	地域の方に施設事業を公開する地域交流行事アトラクション、クラブ発表、模擬店、自主生産品等。
大泉障害者支援ホーム	就労支援講演会	11月16日(水)	10:00~12:00	「親なき後も働き続けるために」というテーマで、専門の講師をお招きし、「親なき後」の具体的な対策について講演していただく。
三園福祉園	三園福祉園 施設公開みその祭り	11月16日(水)~ 18日(金)	10:30~11:30 13:30~14:30	福祉園で行っている、日中活動(作業やレクリエーションなど)を利用者と一緒に体験していただいたり、イベントを楽しんでいただきます。
田柄福祉園	施設公開行事	11月19日(土)	10:30~11:30 13:30~14:30	地域の方々、ご家族、関係機関等を対象に、実際の活動や写真・映像等を公開し、施設を理解していただく機会とする。
板橋区立障がい者福祉センター 高島平福祉園	虹の祭典	11月26日(土)	10:00~14:45	地域交流行事としての催し物、作品展示、事業紹介、自主製品販売、模擬店コーナー等。
小豆沢福祉園	施設公開 「あきのあずさ大公開」	11月26日(土)	10:30~14:30	地域交流行事、体験を含む活動紹介、模擬店、イベント等。
前野高齢者 在宅サービスセンター	年忘れ会	12月12日(月)~ 14日(水)	11:00~15:00	毎年の恒例行事。もちつき、歌、演劇など利用者全体で実施。家族や地域の方々にも公開。
東が丘福祉工房	年忘れ会	12月16日(金)	10:00~14:00	クリスマス会を兼ねての地域交流行事。
大泉障害者支援ホーム	ガイドヘルプ 入門講座	平成29年1月 または2月	未定	視覚障がい者のガイドヘルプの入門編。講師を招き実技を中心に実施する。
東が丘福祉工房	さくらまつり	3月24日(金)	10:00~12:00	地域の方やボランティアの協力を得て、開催する地域交流行事。抹茶の振る舞いや自主生産品出店、音楽活動開催。

新しいホームページをご活用ください

東京援護協会



当法人は、障がい者施設、高齢者施設、路上生活者対策事業施設、保護施設など17カ所の施設で60以上の事業を運営しております。そのため、法人のトップメニューから、法人情報や採用、施設のイベント情報などがすぐに入手でき、各施設のホームページにも連動しやすいように工夫しました。

各施設のホームページでは、施設事業や活動の紹介、お祭りの開催、自主生産品の紹介、講演会開催など最新の情報を発信しています。

現在、各障がい者施設で作っている製品(クッキー等の食べ物、ビーズ・革・織物等の雑貨)をまとめたカタログや販売方法などについて、紹介のページも作成中です。

ぜひご覧頂き、ご意見ご要望をお寄せください。



「創立20周年記念式典」開催 特別養護老人ホームいずみの苑

平成27年10月25日(日)「第8回いずみ祭」の実施に合わせ、式典を開催しました。当日午前10時から行われるいずみ祭に先立ち、9時30分から法人理事長、副理事長、歴代苑長列席の中、施設の運営・管理に多大な貢献をされた6名の方へ、理事長から感謝状と記念品を贈呈し、感謝の意を伝えました。

贈呈させていただいた6名の方々は、平成7年の創立時から「防災相互援助協定」を締結していただいている地元の二町会及び三株式会社、また、十数年にわたりいずみの苑周辺道路を、毎朝清掃をいただいている方です。日々の施設運営・管理の中では、気

づきにくい活動を長期間されており、施設が大過なく今日を迎えられているのもこうした方々の惜しみないご協力があったからこそだと思います。

贈呈式には、あらかじめ板橋区が発行する「広報いたばし」で募集し、当選した20名の区民の皆様が立ち会いました。このご出席者には、花鉢といずみ祭当日の模擬店で利用可能な金券をプレゼントしました。

なお、当日のいずみ祭は、多くのボランティア等のご協力を得て、前年を上回る362名の大勢の方々にお越しいただき大盛況でした。

いずみの苑管理課長 縣久夫



災害時訓練の様子



創立20周年記念式典



感謝状・記念品の贈呈



法人の徽章

○徽章の理念は『平等』を現しています。
 ○上半分は『太陽』を、下半分は『海』を意味しています。
 『太陽』は生きる者全てに、わけ隔てなく光を与え育みます。そして人への愛、温もり、笑顔などのイメージが広がります。『海』は、地球上のあらゆる生物を産み、暖かく育ててくれた場です。
 ○『太陽』と『海』の存在が、平等を実現しています。

社会福祉法人東京援護協会施設一覧

法人本部

〒101-0044

千代田区鍛冶町1-8-5 新神田ビル2階
 TEL: 03-3256-4711

施設(事業)名	住所
町田荘 施設入所支援事業 生活介護事業 短期入所事業(空床利用型)	〒194-0203 町田市図師町2987 TEL: 042-791-0905
サルビア荘 特別養護老人ホーム 短期入所生活介護事業 指定居宅介護支援事業 通所介護事業	〒194-0203 町田市図師町2987 TEL: 042-794-0333
東京都練馬障害者支援ホーム 施設入所支援事業 生活介護事業 自立訓練(機能訓練)事業 短期入所事業(空床利用型)	〒178-0065 練馬区西大泉5-36-2 TEL: 03-3925-0088
練馬区立心身障害者福祉センター 練馬区中途障害者通所事業 自立訓練(機能訓練) 自立訓練(生活訓練) 地域活動支援センター	〒176-0021 練馬区貫井1-9-1 TEL: 03-3926-7214
高島平福祉園 生活介護事業 就労継続支援B型事業	〒175-0082 板橋区高島平9-25-12 TEL: 03-3550-3403
板橋区立障がい者福祉センター 地域活動支援センター (地域活動支援センター事業) (セミナー事業) (施設利用) 指定相談支援事業	
高島平福祉園分場 就労継続支援B型事業	〒175-0082 板橋区高島平9-1-8-201 TEL: 03-5399-7170
蓮根福祉園 就労継続支援B型事業	〒174-0043 板橋区坂下2-8-1-101 TEL: 03-5392-0761
前野福祉園 就労継続支援B型事業 前野高齢者在宅サービスセンター 通所介護事業 指定居宅介護支援事業	〒174-0063 板橋区前野町4-16-1 TEL: 03-5392-8731
特別養護老人ホームいずみの苑 短期入所生活介護事業 通所介護事業 指定居宅介護支援事業 訪問介護事業 地域包括支援センター	〒174-0042 板橋区東坂下2-2-22 TEL: 03-5970-9101
蓮根高齢者在宅サービスセンター 通所介護事業	〒174-0046 板橋区蓮根2-28-2 TEL: 03-5994-1111

施設(事業)名	住所
小豆沢福祉園 生活介護事業	〒174-0042 板橋区東坂下1-4-9 TEL: 03-3969-5131
ケアハウス松が谷 軽費老人ホーム 通所介護事業 指定居宅介護支援事業 地域包括支援センター	〒111-0036 台東区松が谷4-4-3 TEL: 03-3845-6501
特別養護老人ホーム蔵前 通所介護事業 指定居宅介護支援事業 地域包括支援センター	〒111-0051 台東区蔵前2-11-7 TEL: 03-3862-3033 〒111-0051 台東区蔵前2-11-3
自立支援センター豊島寮 自立支援事業 地域生活継続支援事業 地域生活移行支援事業 巡回相談事業 ホームレス生活サポート事業	豊島区内
大泉障害者支援ホーム 施設入所支援事業 生活介護事業 短期入所事業 就労移行支援事業 就労継続支援B型事業	〒178-0061 練馬区大泉学園町9-4-2 TEL: 03-3978-5581
東が丘荘 更生施設 通所・訪問事業 ステップハウス事業 宿泊所	目黒区内
目黒区東が丘障害福祉施設 目黒区立東が丘福祉工房 生活介護事業 目黒区立東が丘あじさいホーム 短期入所事業 福祉ホーム	〒152-0021 目黒区東が丘1-21-15 工房 TEL: 03-3410-0778 ホーム TEL: 03-3410-6030
練馬区立関町福祉園 生活介護事業	〒177-0053 練馬区関町南3-15-35 TEL: 03-3594-0217
三園福祉園 生活介護事業 重症心身障害児(者)通所事業	〒175-0091 板橋区三園2-9-16 TEL: 03-5383-9587
田柄福祉園 生活介護事業	〒179-0073 練馬区田柄3-14-9 TEL: 03-3577-2201

発行日 平成二十八年十一月一日
 発行者 山口 桂造
 社会福祉法人 東京援護協会

東京都千代田区鍛冶町一八八五
 新神田ビル2階
 電話 〇三―三二五六一四七一

日増しに寒さがつのつてまいりました。今回の特集は、板橋・練馬地区を中心とした法人施設の「地域交流」の報告をお送りさせて頂きました。各施設ともに趣向を凝らし、お祭りやイベントを通じて、地域の方々との交流を図っているようです。今後も各施設において様々な地域交流行事が開催されますので、是非足をお運びください。(詳細は6ページ参照)
 また先日は、町田荘創立50周年記念式典も、多くの来賓をお迎えし、盛大に行うことができました。次号ではそんな節目を迎えます、町田荘・高島平福祉園・関町福祉園等の記念式典のご報告も予定しております。次回発行は平成29年4月です。

編集後記



「祝・50周年・町田荘」

撮影：町田荘

この施設この一枚